

☆各省予算獲得へ運動開始☆

～建設国保の育成・強化！！～

★仕事と暮らしを守り、建設産業を持続させる★

～11・22 賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会～

建設国保の育成・強化、現場労働者の賃金大幅引き上げをかちとろう！！

- 社会保障制度の拡充！ ● 社会保険への加入促進、法定福利費の確保！
- 公契約法(条例)の制定！ ● 建設アスベスト被害の根絶・被害者補償！
- 建設業への入職促進・技能者育成！
- 住宅リフォーム・耐震助成制度の創設・拡充！
- 消費税をはじめとする大衆増税反対！
- 青年子育て層対策強め組織の拡大強化！



～全建総連（全国建設労働組合総連合）は11月22日、東京「日比谷野外音楽堂」で「全建総連 11・22 賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会」を開催し、全国の48県連・組合から3,500人の仲間が参加しました。来賓には、自民、公明、立憲民主、希望、民進、共産、社民の各党代表者が出席され、激励のあいさつを受けました。集会参加者は賃金・単価引き上げとともに、国保組合助成をはじめとした各省予算を確保するため、取り組みの強化を誓い合いました。～

全建総連の吉田三男委員長は「人が育つ建設産業にするために、賃金・単価を引き上げ、法定福利費が現場の仲間の手に渡るように取り組む。建設国保の育成・強化のため予算確保は最重要課題。予算要求で、仕事と暮らしを守り、建設産業を持続させる」と強調されました。基調報告では、勝野書記長より「総選挙で与党が3分の2を超える議席を獲得したことで、憲法改正の動きが強まっている。全建総連は、第9条の改悪を断固許さない取り組みを引き続きすすめる」と訴えました。決意表明をおこなった、神奈川県内のゼネコン工事現場周辺においても宣伝を実施している。長時間労働を是正し、その分、賃上引上げの実現・安全対策の強化・異常な働き方を変えよう」と呼びかけました。

この総決起大会には、香芝支部4名の仲間が参加し、『建設国保を守れ!』・『賃金・単価をあげろ!』・『ダンピング受注を止めろ!』・『公契約法をつくれ!』・『リフォーム助成を進めろ!』・『建設アスベスト被害者を救済しろ!』・『大衆増税反対!』・『社会保険料を労働者に保障しろ!』と要求し、デモ旗や組合旗を掲げ、シュプレヒコールで私たち組合員の諸要求を訴えました。

『参加された香芝支部の仲間』 ※順不同・敬称略

土屋 剛(香芝)、森 正幸(香芝)、増田 順治(同)、北野 完(同)